

令和6年度 主要事業概要

＜安全で安心な地域社会の実現を目指し、将来を見据えた社会資本基盤整備の推進＞

(仮称) 栗原インターチェンジ整備事業【継続中】



川口急傾斜地崩壊対策事業【継続中】



一級河川迫川（築館工区）河川改修事業【継続中】



一般県道若柳築館線 川南道路改良事業【完成】

令和6年4月

宮城県北部土木事務所栗原地域事務所

目 次

1 管内の概況	1
2 事務所の概要	1
3 令和5度の事業方針，事業箇所図	2
4 主要事業		
（1）高規格幹線道路と地域間連携を強化する道路整備の推進		
•（仮称）栗原インターチェンジ整備事業	4
•（主）築館登米線 萩沢道路改良事業	5
•（国）398号 湯浜雪寒対策事業	6
•（国）457号 一迫西沢道路改良事業	7
•（主）築館栗駒公園線 沼倉災害防除事業	8
（2）河川等の整備と地域連携による防災力の強化		
•一級河川 迫川（築館工区）河川改修事業	9
•一級河川 荒川 河川改修事業	10
•一級河川 照越川 河川改修事業	11
•一級河川 小山田川 河川改修事業	12
•川口 急傾斜地崩壊対策事業	13
•虎沢砂防堰堤 土石流対策事業	14
•岩倉沢砂防堰堤 土石流対策	15
•新地ヶ沢砂防堰堤 土石流対策	16
（3）道路，河川施設等の適正かつ効率的・持続的な維持管理の推進		
•更新防災等（道路メンテナンス）事業（橋梁長寿命化）	17
•補助・県単舗装補修事業	18
•河川内の支障木伐採・堆積土砂撤去	19

令和6年度 北部土木事務所栗原地域事務所 事業概要

1 管内の概況

当事務所の所管区域は、平成17年4月1日に旧栗原郡9町1村の合併により誕生した栗原市全域であり、総面積は約805km²（県全面積の約11%）、人口は令和6年2月末現在で61,663人（県人口の約3%）である。※R6.3.1 県全体2,258,481人

北西側は秋田・岩手両県と、南東側は大崎市・登米市と接し、栗駒山麓を水源とする迫川、二迫川、三迫川が東流する豊潤な大地を育てている。また、指定から50年以上となる栗駒国定公園や、ラムサール条約に登録され国内有数の渡り鳥の飛来地である伊豆沼・内沼など、豊かな自然環境や風光明媚な景観に恵まれている。

交通体系については、JR東北新幹線やJR東北本線、東北縦貫自動車道、国道4号が南北に縦断する基幹交通軸を形成し、また、東西交通軸として東北縦貫自動車道と三陸縦貫自動車道を結ぶ「みやぎ県北高速幹線道路」が整備され、令和3年12月に全線の供用を開始している。現在、富県宮城を支える広域道路交通ネットワークの充実強化の一環として、東北縦貫自動車道への相互乗り入れが可能となる（仮称）栗原インターチェンジ整備事業に取り組んでいる。

栗原地域では、人口が減少傾向にあり、65才以上の割合が41.9%と圏域別で県内1位（市町村別では県内4位）であるなど高齢化が顕著である。このため、地域経済を牽引してきた農業は、高齢化や担い手確保等が課題となっている。このような中、自動車関連産業をはじめとして企業等の誘致を積極的に推進し、地域産業及び経済活性化を図っているほか、平成20年6月の「岩手・宮城内陸地震」により甚大な被害を受けた栗駒山麓を中心とする市全域が、平成27年に「栗駒山麓ジオパーク」として認定を受け、「栗駒山麓ジオパークビジターセンター」を開所して情報の発信や体験・学習の場を提供するなど、これまでの活動がさらに評価されことから、令和5年12月14日の日本ジオパーク委員会において再認定され、山麓の地形や景観を教育、防災、観光などに活用する持続可能な地域づくりに積極的に取り組んでいる。

2 事務所の概要

当管内は、北西部に栗駒山を中心とする奥羽山脈が連なる一方、東部は平地が広がり、築館や栗駒、若柳地区などの市街地が形成され、農地では稲作などの農作物が栽培されている。

道路については、国道398号や457号などの主要路線が隣接県や沿岸部をはじめ他圏域と連絡しており、防災道路ネットワークの形成や圏域間の連携・交流促進などに向けた道路整備や防災機能強化に取り組んでいる。また、山間部は県内有数の豪雪地帯であり冬期間閉鎖が必要となる区間がある。特に、国道398号は春先の雪崩による危険箇所があり閉鎖解除の障害になっているが、観光振興や交流促進などの重要な役割を担う路線であることから、雪崩対策等を計画的に推進している。

河川については、栗駒山麓を源とする迫川、二迫川、三迫川が管内を貫流し、上流域は栗駒山の南東斜面で雨の降りやすい地形に加え、中・下流域は低平地で勾配が緩く、洪水時は北上川の背水の影響による越水や破堤などのほか、無堤及び河道狭小、堆積土砂・支障木等を有する区間が多く度々洪水被害に遭っている。令和4年7月豪雨では栗原市築館の日降水量が観測史上最大を記録し、管内で71箇所の被害を受けたことから、堤防補強や堆積土砂撤去及び支障木伐採等を計画的に推進させ、治水安全度の向上に取り組んでいる。

また、山地部では、平成20年の「岩手宮城内陸地震」による斜面崩落が発生した中、昨今の気候変動による土砂災害の発生が危惧されることから、急傾斜地崩壊対策や砂防堰堤整備を推進や、これまでの土砂災害警戒区域等の指定・更新に加え、高精度地形図を活用した危険箇所調査・周知に取り組むなど、更なる防災・減災に向けたソフト対策の充実強化に取り組んでいる。

3 令和6年度の事業方針

栗原の多様な地域特性を活かした産業や観光の振興と交流人口の拡大のほか、安全で安心な地域社会の実現を目指し、将来を見据えた社会基盤整備を着実に推進する。

- (1) 高規格幹線道路や地域間連携を強化する道路整備の推進
- (2) 河川等の整備と地域連携による防災力の強化
- (3) 道路、河川施設等の適正かつ効率的・持続的な維持管理の推進

(1) 高規格幹線道路や地域間連携を強化する道路整備の推進

- ①東北・宮城の骨格となる高速道路網の整備
 - (仮称) 栗原インターチェンジ整備事業 《道路建設班》
- ②地域の発展を支え、地域間連携を強化する広域道路網の整備
 - (主) 築館登米線 築館萩沢道路改築事業(道路改良) 《道路建設班》
- ③災害に強い道路網の構築
 - (国) 398号 湯浜雪寒対策事業(雪崩対策) 《道路管理班》
 - (国) 457号 一迫西沢道路改築事業(道路改良)【国土強靱化】 《道路管理班》
 - (主) 築館栗駒公園線 沼倉災害防除事業(法枠工) 《道路管理班》

(2) 河川等の施設整備と地域連携による防災力の強化

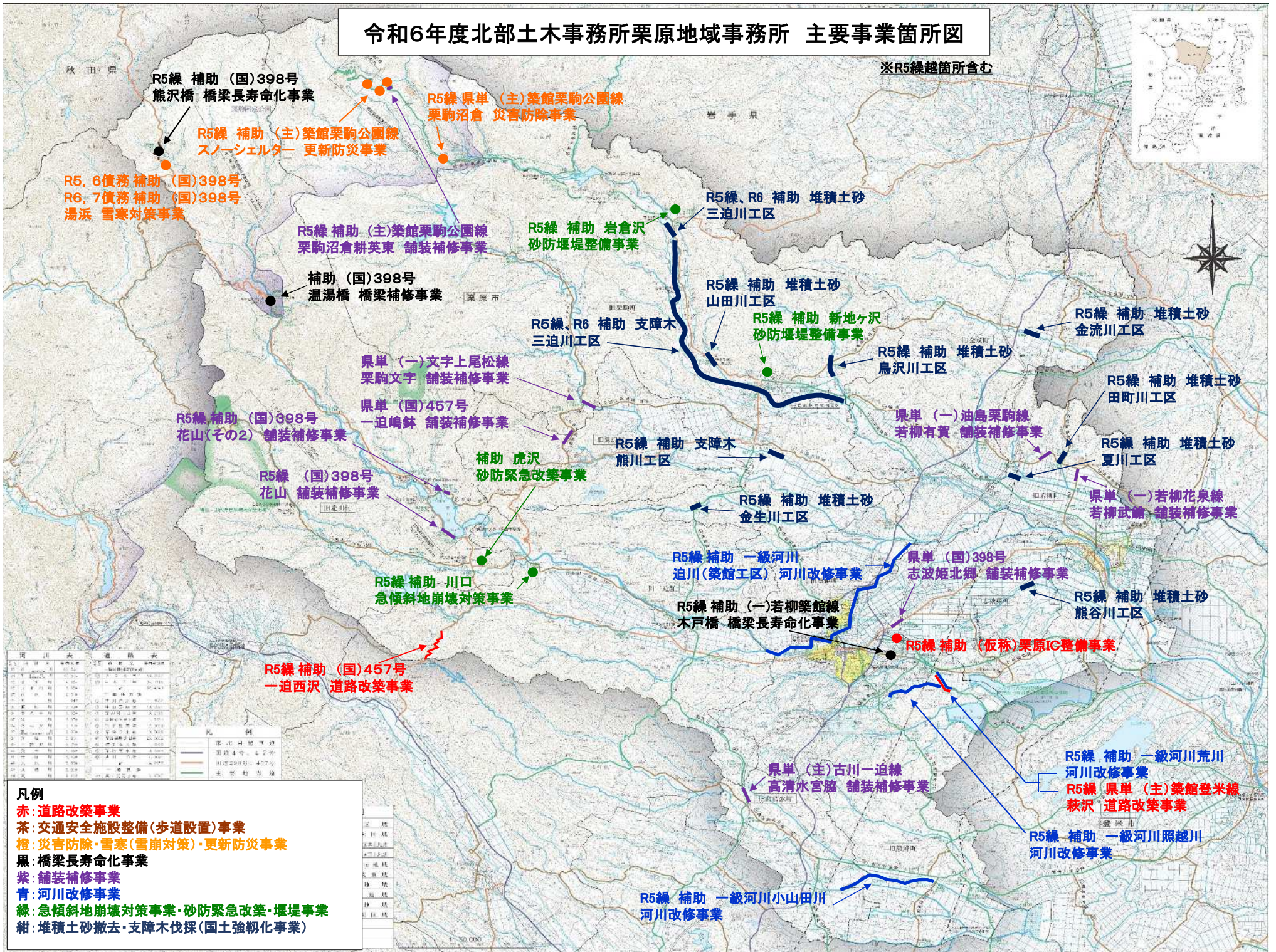
- ①総合的な治水対策の推進
 - 迫川(築館工区)河川改修事業(築堤等) 《河川砂防班》
 - 荒川、照越川、小山田川河川改修事業(築堤等)【国土強靱化】 《河川砂防班》
 - 洪水対応演習や情報伝達訓練など関係機関等と連携した防災訓練の実施 《行政班・事務所》
- ②総合的な土砂災害防止対策の推進
 - 川口急傾斜地崩壊対策事業(法枠工) 《河川砂防班》
 - 虎沢砂防堰堤改築事業(堰堤改良) 【国土強靱化】 《河川砂防班》
 - 岩倉沢、新地ヶ沢砂防堰堤整備事業 【国土強靱化】 《河川砂防班》
 - 新たな土砂災害警戒区域等基礎調査の実施 《河川砂防班》
 - 土砂災害防止パトロールによる土砂災害危険箇所の調査 《河川砂防班》

(3) 道路、河川施設等の適正かつ効率的・持続的な維持管理の推進

- 橋梁長寿命化事業 (国) 398号 温湯橋ほか2橋 《道路管理班》
- 舗装補修事業 (国) 398号 志波姫北郷ほか8箇所 《道路管理班》
- 河川の支障木伐採・堆積土砂撤去 【国土強靱化】 《河川砂防班》
- 道路や河川・砂防等パトロールによる異常箇所の早期発見、補修の実施 《道路管理班・河川砂防班》
- 愛護団体やスマイルサポーター等との連携・協働による美化活動の推進 《道路管理班・河川砂防班》

令和6年度北部土木事務所栗原地域事務所 主要事業箇所図

※R5線越箇所含む

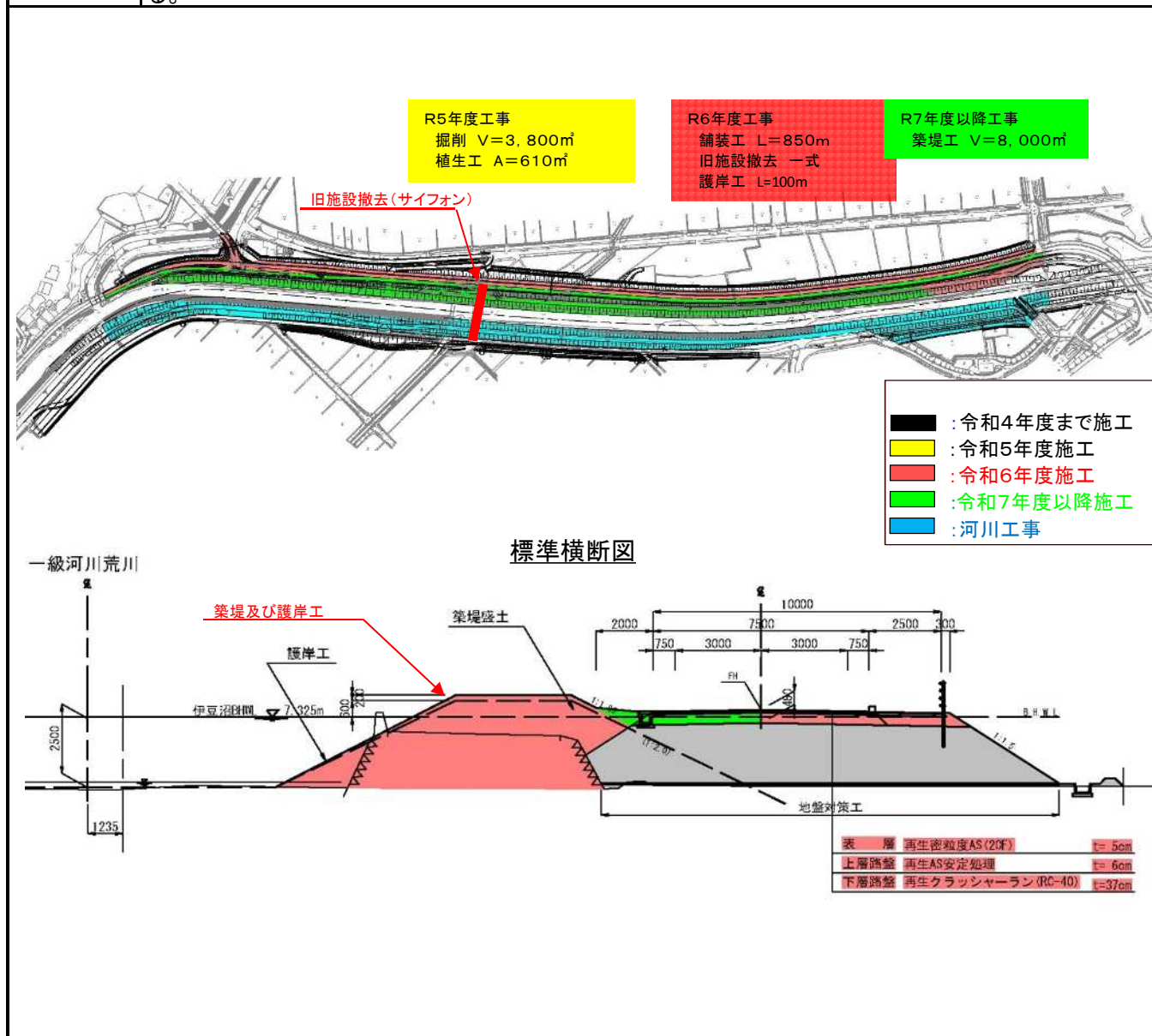


河川表		道路表	
河川名	河川番号	道路名	道路番号
三迫川	1	三迫川	1
山田川	2	山田川	2
鳥沢川	3	鳥沢川	3
金流川	4	金流川	4
田町川	5	田町川	5
夏川	6	夏川	6
熊谷川	7	熊谷川	7
荒川	8	荒川	8
照越川	9	照越川	9
小山田川	10	小山田川	10
古川	11	古川	11
清水	12	清水	12
志波	13	志波	13
川口	14	川口	14
花山	15	花山	15
一迫	16	一迫	16
栗駒	17	栗駒	17
岩倉	18	岩倉	18
新地	19	新地	19
支障	20	支障	20
温湯	21	温湯	21
熊沢	22	熊沢	22
熊川	23	熊川	23
栗駒	24	栗駒	24
栗駒	25	栗駒	25
栗駒	26	栗駒	26
栗駒	27	栗駒	27
栗駒	28	栗駒	28
栗駒	29	栗駒	29
栗駒	30	栗駒	30
栗駒	31	栗駒	31
栗駒	32	栗駒	32
栗駒	33	栗駒	33
栗駒	34	栗駒	34
栗駒	35	栗駒	35
栗駒	36	栗駒	36
栗駒	37	栗駒	37
栗駒	38	栗駒	38
栗駒	39	栗駒	39
栗駒	40	栗駒	40
栗駒	41	栗駒	41
栗駒	42	栗駒	42
栗駒	43	栗駒	43
栗駒	44	栗駒	44
栗駒	45	栗駒	45
栗駒	46	栗駒	46
栗駒	47	栗駒	47
栗駒	48	栗駒	48
栗駒	49	栗駒	49
栗駒	50	栗駒	50

- 凡例**
- 赤: 道路改築事業
 - 茶: 交通安全施設整備(歩道設置)事業
 - 橙: 災害防除・雪害(雪崩対策)・更新防災事業
 - 黒: 橋梁長寿命化事業
 - 紫: 舗装補修事業
 - 青: 河川改修事業
 - 緑: 急傾斜地崩壊対策事業・砂防緊急改築・堰堤事業
 - 紺: 堆積土砂撤去・支障木伐採(国土強靱化事業)

(主) 築館登米線 萩沢道路改良事業

事業名	社会資本総合交付金(防安), (県単)一般道路改良事業, (県単)河川局部改良改良事業	
事業概要	<p>主要地方道築館登米線は、栗原市築館と登米市登米町を結ぶ約35kmの幹線道路であり、栗原・登米地域の物流や産業振興、地域間交流などに重要な路線である。</p> <p>事業箇所は、一級河川荒川との兼用堤区間であり、洪水時には荒川水位が急上昇して堤防を越え、周辺一帯が冠水し長時間通行止めになるなど、圏域の生活、経済活動に多大な損失を与えている。</p> <p>このため、堤防嵩上げ等と併せ、道路の拡幅及び嵩上げ等を行うなど、河川と道路整備を一体で行い、越水等による冠水被害の軽減と、安全で快適な通行を確保するもの。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市築館字萩沢地内</p> <p>2 全体事業費 C=1,488百万円</p> <p>3 施工延長 L=850m W=6.5(8.5)m</p> <p>4 事業期間 平成27年度～令和9年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R5末) 45.0%</p> <p>6 事業概要 道路改良L=850m 付帯構造物</p>	<p>【令和6年度事業概要】</p> <p>1 事業費 C=131百万円 (うち繰越18百万円)</p> <p>2 施工延長 L=850m</p> <p>3 事業概要 舗装工 一式 旧施設撤去 一式 護岸工 L=100m</p>
事業効果	河川改修と道路改良を一体的に整備を行うことで、洪水被害の防止や冠水等による通行止めが軽減され、登米及び栗原圏域を結ぶ東西交通軸として産業や観光振興等の促進が期待される。	



国道398号 湯浜雪寒対策事業

事業名	防災安全交付金事業(雪寒)・(国土強靱化)		
事業概要	<p>(国)398号は、石巻市を起点に女川町、南三陸町、登米市、栗原市を經由し、秋田県由利本荘市に至る幹線道路である。栗原市花山本沢湯浜地区は、県北西部の栗駒国立公園内に位置し、雄大で風光明媚な自然景観に恵まれ、年間約25万人(平成30年)もの観光客が訪れる。</p> <p>一方、当箇所は県内有数の豪雪地帯であり、秋田県境の14.4km区間は、毎年冬期閉鎖しており、観光振興及び地域間交流の促進のため、春先の早期開通が望まれている。</p> <p>春先の冬期閉鎖解除後の安全な通行を確保するため、雪崩の危険性や雪庇の落下等を踏まえ優先順を定めスノーシェッドの延伸等を進めるもの。</p>		
事業内容	【全体計画】	【令和6年度概要】	
	1 事業箇所 栗原市花山本沢岳山地内 2 全体事業費 C=4,100百万円 3 施工延長 L=831m 4 事業期間 平成12年度～令和14年度(予定) 5 進捗率(R5末) 38.9%(544m/831m=65.5%) ※上部工完成延長 6 事業概要 スノーシェッド工	1 事業費	C=86百万円 (うち繰越36百万円)
		2 施工延長	L=12m
		3 事業概要	1号スノーシェッド延伸 1号起点側:R5・6債務 山側下部工(B5) L=12m 1号起点側:R6・7債務 谷側下部工(B5) L=12m
事業効果	雪寒対策により、安全で円滑な通行確保と、冬期閉鎖解除の早期化による観光振興及び地域間交流の促進等が図られる。		



1号スノーシェッド延伸区間現況写真

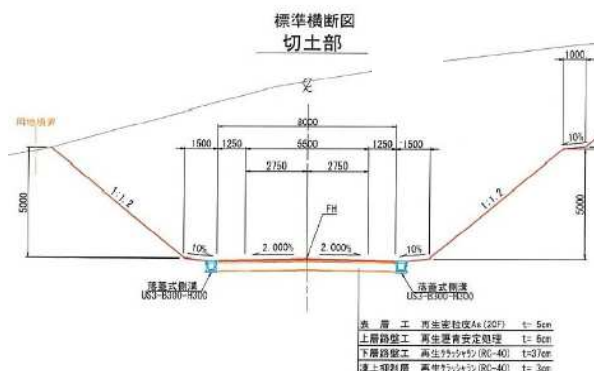
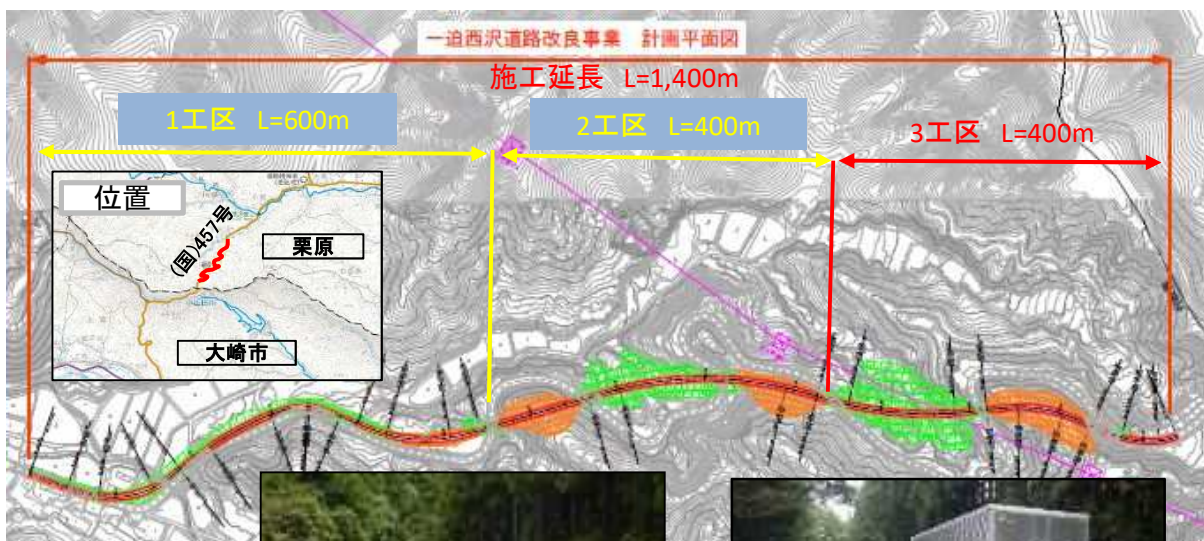


1号スノーシェッド延伸区間現況写真



(国)457号 一迫西沢道路改良事業

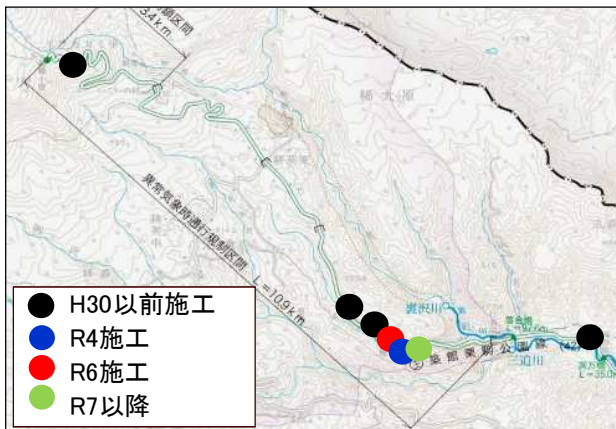
事業名	社会資本整備総合交付金(防災安全交付金)	
事業概要	<p>一般国道457号は、一関市を起点とし栗原市、大崎市、加美町、大和町、仙台市などを経て白石市へ至る延長約117kmの国道で、栗原市内は全て緊急輸送道路(2次)に指定されている。</p> <p>事業箇所は、大崎市との市境付近に位置し、幅員狭隘かつ現状の技術基準を満たさない急曲線が連続する区間で大型車両の通行に支障が生じているほか、落石や崩落の恐れのある脆弱な道路法面が複数確認されており現道交通への影響が懸念されている。</p> <p>このため、走行性が著しく劣る急曲線区間の解消及び防災安全上支障となる脆弱な法面を回避するための拡幅・線形改良を実施し安全かつ快適な通行機能を確保するもの。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市一迫西沢地内</p> <p>2 全体事業費 C=1,600百万円</p> <p>3 施工延長 L=1,400m W=5.5(8.0)m</p> <p>4 事業期間 令和3年度～令和7年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R5末) 20.5%</p> <p>6 事業概要 道路改良 L=1,400m</p>	<p>【令和6年度事業概要】</p> <p>1 事業費 C=370百万円 (うち繰越130百万円)</p> <p>2 施工延長 L=400m</p> <p>3 事業概要 道路土工 一式 用地買収及び補償 一式</p>
事業効果	道路の拡幅・線形改良により安全で快適な通行が確保されることで、広域的な交通軸としての機能が強化されるとともに緊急輸送路としての安全性が向上する。	



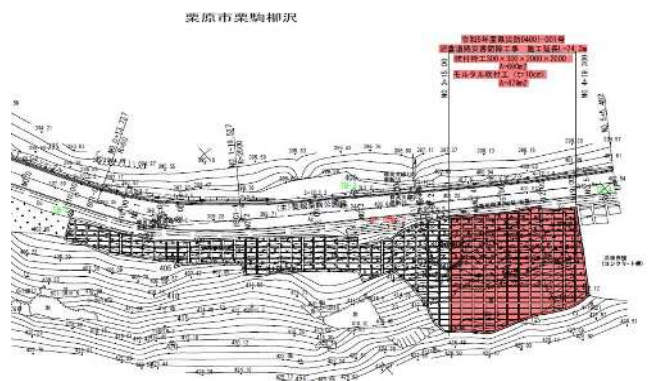
(主) 築館栗駒公園線 沼倉災害防除事業

事業名	防災安全交付金事業(災害防除)	
事業概要	主要地方道築館栗駒公園線は、栗原市築館と栗駒山登山口である「いわかがみ平」を結ぶ路線であり、登山客や栗駒国定公園内にある名所、温泉等を訪れる観光客にとって重要なアクセスルートとなっている。 当事業箇所には、法面に滑落や崩落しやすい危険な区間があるため、法面对策を実施し、通行の安全確保と観光振興の促進を図るもの。	
事業内容	【全体計画】 1 事業箇所 栗原市栗駒沼倉地内 2 全体事業費 C=462百万円 3 施工延長 L=395m 4 事業期間 平成25年度～令和7年度(予定) 5 進捗率(R5末) 89.2% 6 事業概要 吹付砕工 仮設工	【令和6年度事業】 1 事業費 C=60百万円 (うち繰越 60百万円) 2 施工延長 L=24.3m 3 事業概要 吹付砕工 A=479m ² 仮設工 一式
事業効果	道路法面の災害防除により通行の安全が確保され、栗駒山麓の観光振興が促進される。	

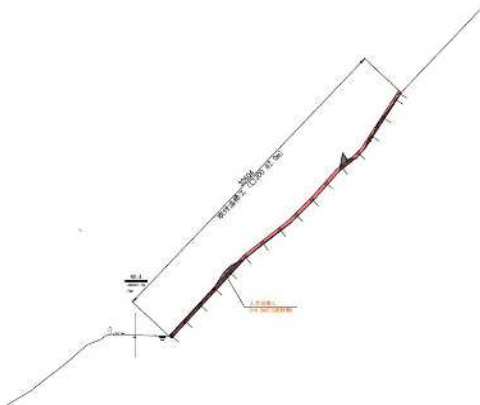
位置図



平面図



標準横断面図

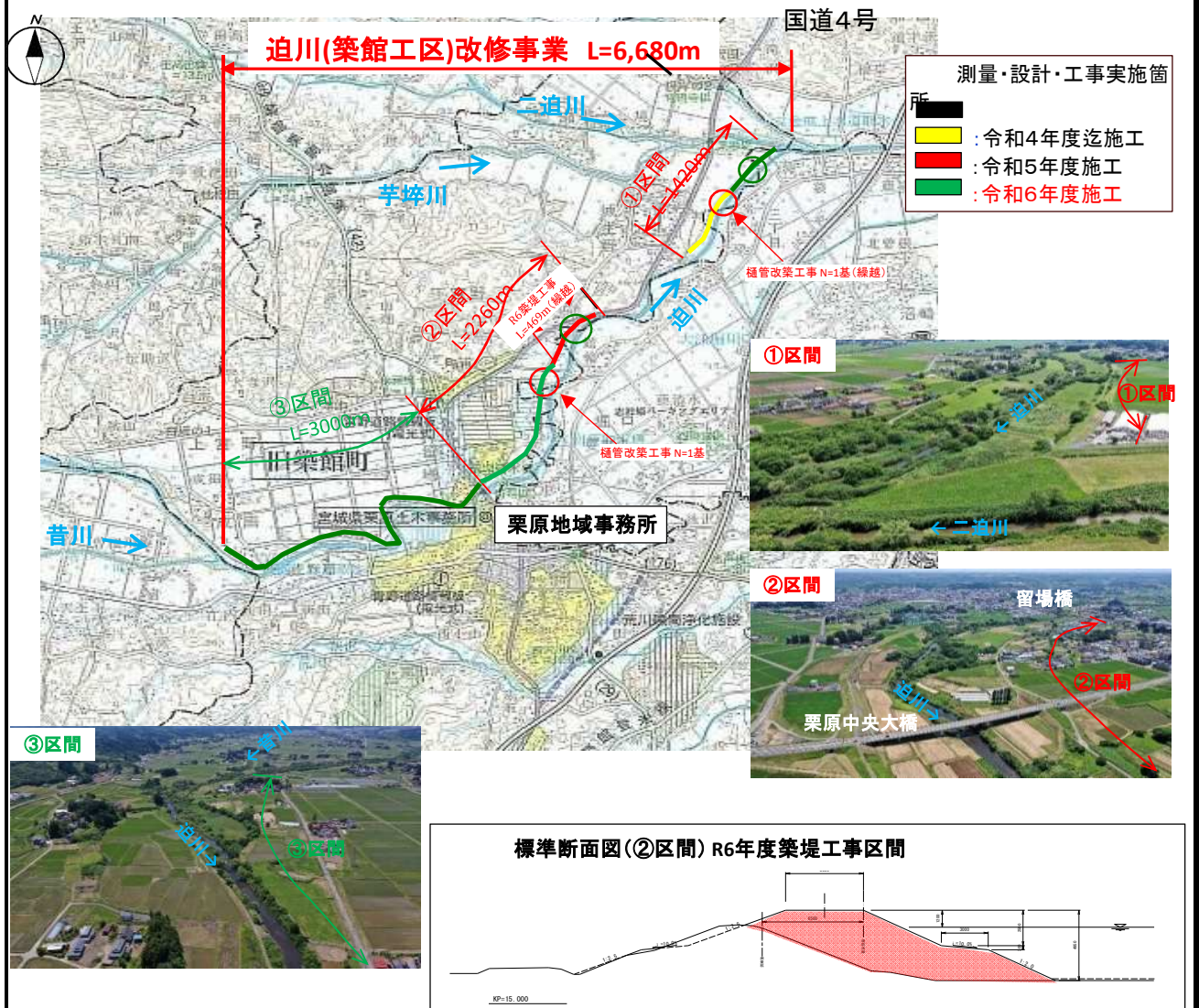


現況写真



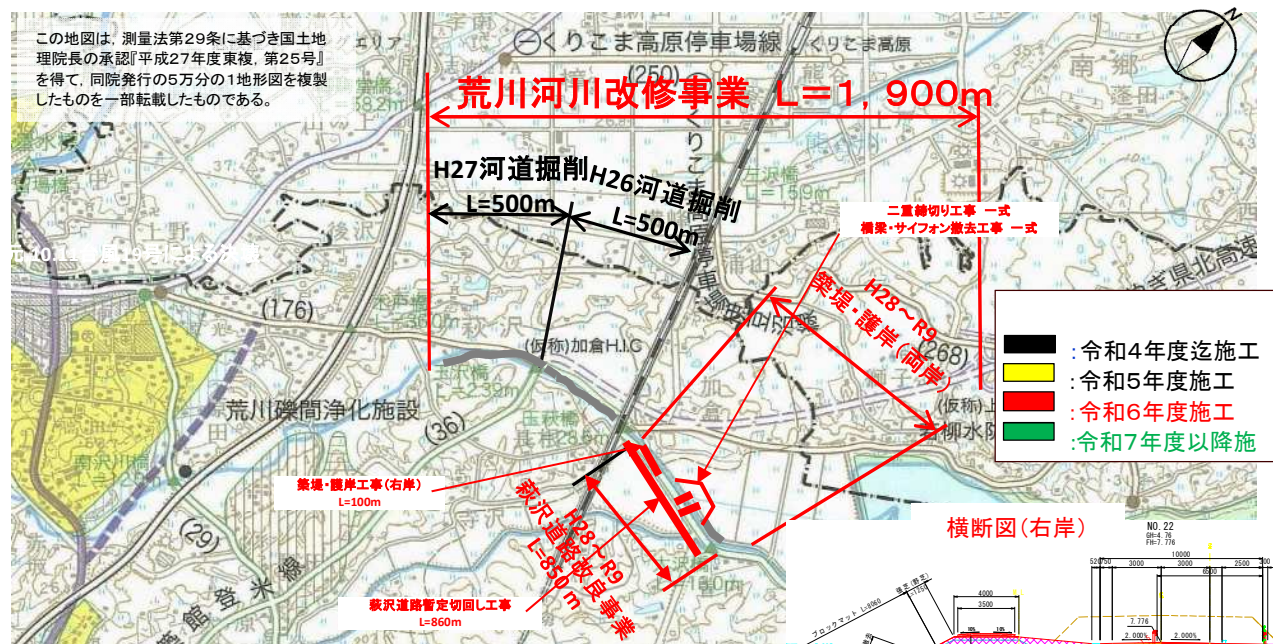
一級河川迫川(築館工区) 河川改修事業

事業名	社会資本整備総合交付金	
事業概要	<p>迫川は、栗駒山麓を水源に、栗原市及び登米市を貫流して旧北上川に合流する北上川水系の一級河川であり、流域面積約913km²、流路延長約95kmと県内屈指の規模を誇っている。</p> <p>事業箇所は二迫川合流点から昔川合流点までの迫川区間で、左岸堤防において余裕高さの不足が確認されている。</p> <p>この区間の左岸背後地には栗原市立栗原中央病院や宮城県立築館高校などの重要施設があり、河川の増水による浸水が発生すると被害が甚大となる区域である。</p> <p>このため、堤防嵩上げによる堤防の機能強化を行い背後地の被害軽減を図るもの。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市築館</p> <p>2 全体事業費 C=約2,000百万円</p> <p>3 施工延長 L=6,600m</p> <p>4 事業期間 令和元年度～令和8年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R5末) 27%</p> <p>6 事業概要 築堤(左岸)L=6,680m 等</p>	<p>【令和6年度事業概要】</p> <p>1 事業費 C=287百万円 (うち繰越107百万円)</p> <p>2 施工延長 L=469m(繰越)</p> <p>3 事業概要 樋管改築 N=2基(うち1基繰越) 築堤盛土V=10,540m³</p>
事業効果	河川改修により流下能力の向上を図り、洪水被害が軽減され、地域の安全・安心が確保される。	



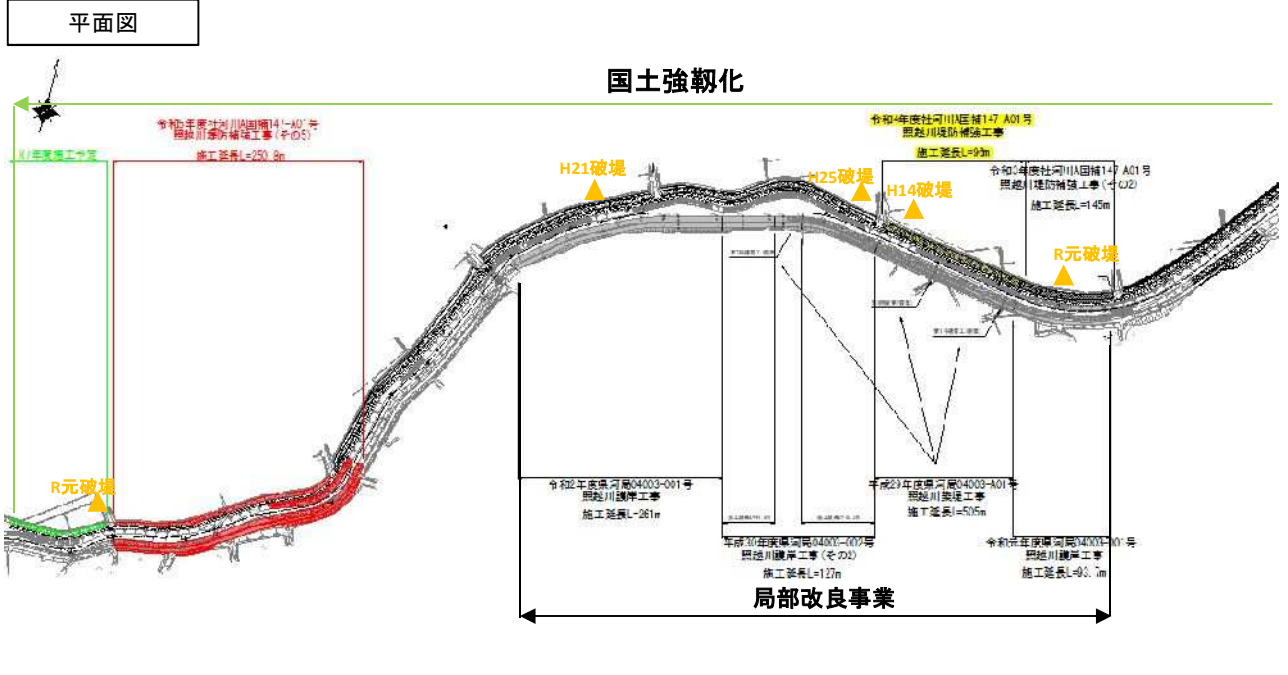
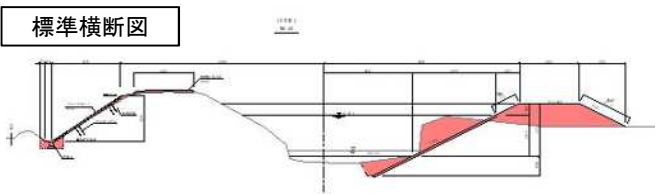
一級河川荒川 河川改修事業

事業名	(県単)河川局部改良改良事業、(補助)防災・安全交付金事業	
事業概要	<p>荒川は、栗原市築館南部の丘陵地を水源として伊豆沼に注ぐ一級河川である。近年は国道4号バイパスやみやぎ県北高速幹線道路、工業団地が整備されるなど、流域内における開発動向が著しい地域である。</p> <p>事業箇所は、荒川と(主)築館登米線との兼用堤区間であり、昭和30~40年代に災害関連等で改修済であるが、地盤が軟弱なため交通荷重や地震などの影響により堤防が沈下し、荒川の増水時には道路や周辺田畑が長時間冠水する被害が発生している。</p> <p>このため荒川の堤防嵩上げを行い増水による越水被害を防止するとともに、道路の嵩上げも行い道路冠水による車両通行への影響の軽減を図るもの。</p> <p>右岸側の整備は河川改修事業と道路改良事業との一体で整備を行い、左岸側は河川改修事業として堤防嵩上げや護岸整備などを実施する。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市築館照越</p> <p>2 全体事業費 C=2,182百万円</p> <p>3 施工延長 L=1,900m</p> <p>4 事業期間 平成26年度~令和9年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R5末) 40%</p> <p>6 事業概要 築堤(両岸)L=950m 道路改良L=850m,橋梁1橋, 河道掘削L=1,000m,サイフォン改築</p>	<p>【令和6年度事業概要】</p> <p>1 事業費 C=239百万円 (うち繰越239百万円)</p> <p>2 施工延長 L=960m</p> <p>3 事業概要 萩沢道路 暫定切回工事 L=860m 二重締切工事 一式 橋梁撤去工 一式 サイフォン撤去工 一式 築堤・護岸(右岸) L=100m</p>
事業効果	荒川改修により流下能力の向上を図り、洪水被害が軽減され、地域の安全・安心が確保される。	



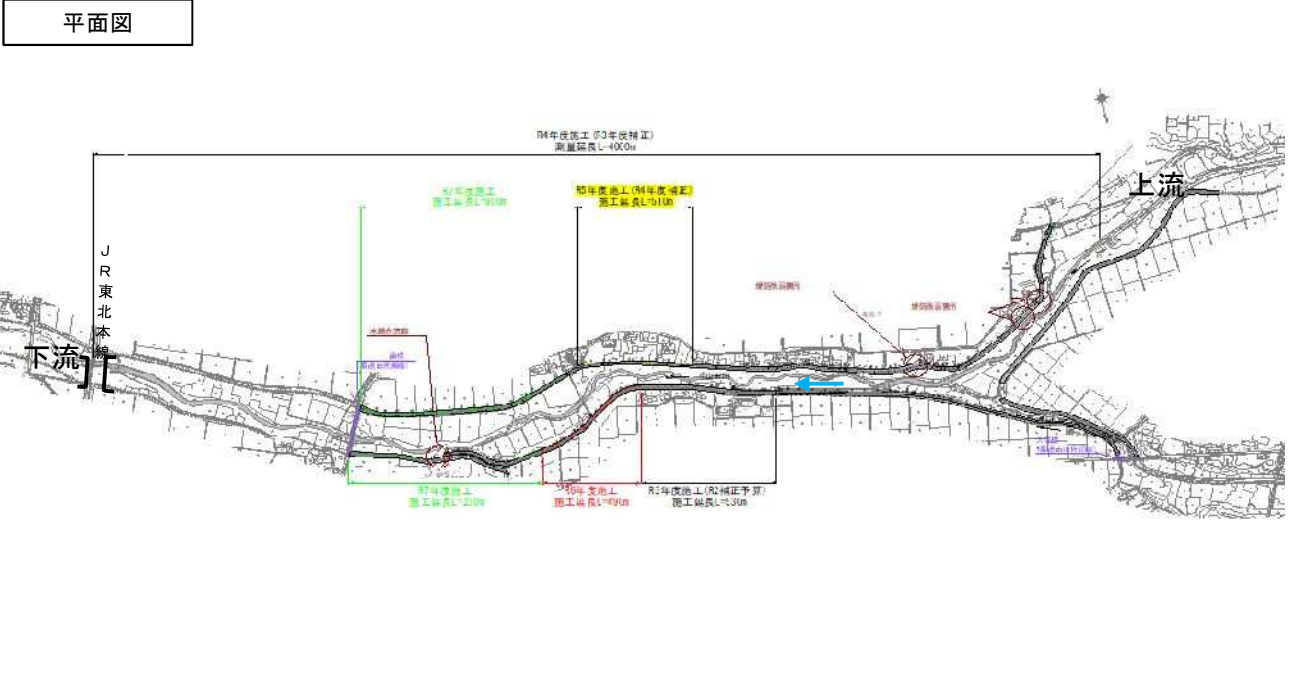
一級河川照越川 河川改修事業

事業名	(補助)防災・安全交付金事業	
事業概要	<p>照越川は、栗原市築館南部の丘陵地を水源として東流し、荒川に合流する一級河川である。河川断面が狭隘なため、これまで台風や豪雨時に破堤や越水、法欠等が生じ、周辺の水田が長時間冠水するなど、農作物への収穫等も含め甚大な被害を招いている。</p> <p>このため、被害の常襲区間を局部改良事業で河道掘削や築堤等により流下能力を向上させ、流域における洪水被害の軽減を図ってきたところであり、引き続き護岸設置等により堤防の強化を図るもの。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市築館照越</p> <p>2 全体事業費 C=425百万円</p> <p>3 施工延長 L=1,360m</p> <p>4 事業期間 平成26年度～令和7年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R5末) 90%</p> <p>6 事業概要 護岸工 A=7,510㎡</p>	<p>【令和6年度事業概要】</p> <p>1 事業費 C=88.5百万円 (うち繰越C=88.5百万円)</p> <p>2 施工延長 L=250m</p> <p>3 事業概要 護岸工 A=3,300㎡ 借地 一式</p>
事業効果	河川改修により洪水被害が軽減し、地域の安全・安心が確保される。	



一級河川小山田川 河川改修事業

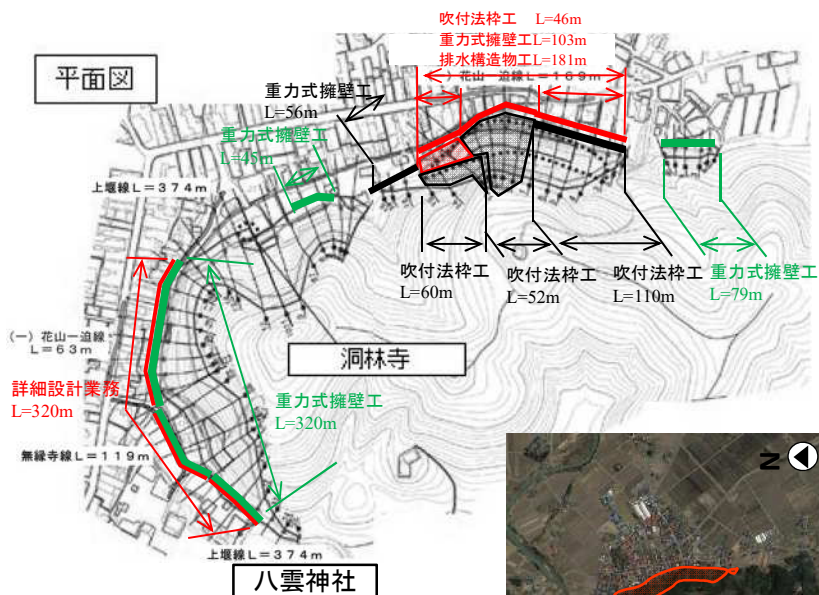
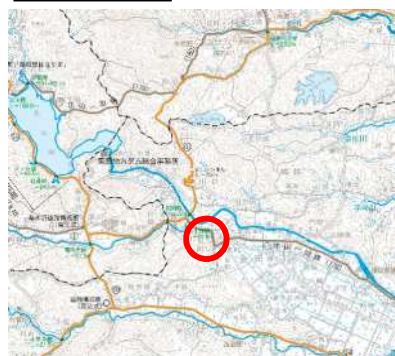
事業名	(補助)防災・安全交付金事業	
事業概要	小山田川は、大崎市岩出山の丘陵地を水源に、栗原市南部の清水・瀬峰を東流し蕪栗沼に流入する一級河川である。 事業箇所は、昭和40年代に局部改良により整備済であるが、整備後40年以上経過し、堤防内には草木茎が根付くなど脆弱化や堤体の沈下等が顕著であり、洪水時に越水や破堤を招く危険が高いことから、草木根や茎を除去し、堤防嵩上げや築堤盛土を行うことで堤防の機能向上を図るとともに、堤体の天端舗装を行い、堤体への雨水の浸透を抑制し、越流水による法肩の浸食防止を図るもの。	
事業内容	【全体計画】 1 事業箇所 栗原市清水～瀬峰 2 全体事業費 C=417百万円 3 施工延長 L=4,400m 4 事業期間 平成26年度～令和7年度(予定) 5 進捗率(R5末) 75% 6 事業概要 盛土 V=19,460m ³ 舗装 A=11,740m ²	【令和6年度事業概要】 1 事業費 C=90百万円 2 施工延長 L=490m 3 事業概要 築堤盛土工 L=4,800m ³ 舗装工 A=980m ²
事業効果	堤防機能の強化により洪水被害が軽減され、地域の安全・安心が確保される。	



川口 急傾斜地崩壊対策事業

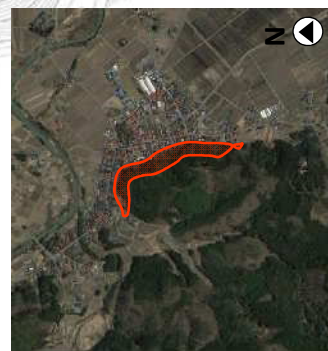
事業名	社会資本整備総合交付金事業	
事業概要	<p>栗原市一迫川口地区は、一般県道花山一迫線沿いに住宅等が密集している集落で、住宅等の背後は急峻な丘陵地が続いている地域である。</p> <p>事業箇所は、岩手・宮城内陸地震や東日本大震災、さらに平成27年9月の関東・東北豪雨等により湧水や落石・亀裂等が発生している箇所が見られることから、斜面が崩壊した場合には、斜面下の集落や県道まで被害が及ぶ地域である。</p> <p>このため危険性が高い斜面について急傾斜地崩壊対策を行い、地域住民の安全な暮らし及び県道の交通確保を図ることを目的に実施するもの。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市一迫川口地内</p> <p>2 全体事業費 C=1,081百万円</p> <p>3 施工延長 L=701m</p> <p>4 事業期間 平成30年度～令和11年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R5末) 37%</p> <p>6 事業概要 重力式擁壁工, 法枠工</p>	<p>【令和6年度概要】</p> <p>1 事業費 C=255百万円 (内繰越 58百万円)</p> <p>2 施工延長 L=181m</p> <p>3 事業概要 吹付法枠工A=788m² 重力式擁壁工V=510m³ 詳細設計業務 一式</p>
事業効果	土砂災害を未然に防止し、安全で安心な暮らしを確保する。	

位置図

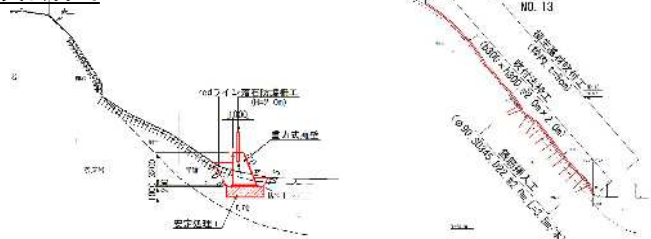


凡 例

- : 過年度施工済み
- : 令和6年度施工予定
- : 令和7年度以降施工予定

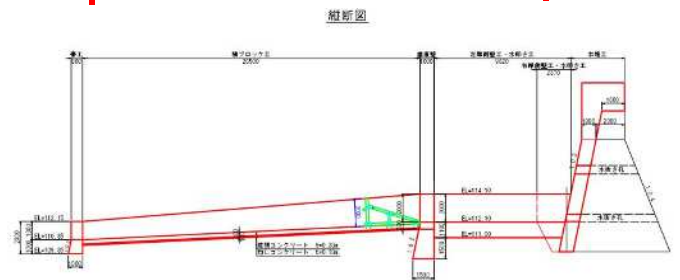
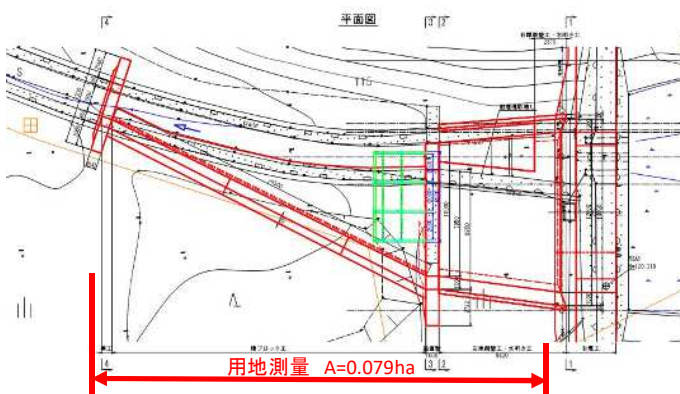
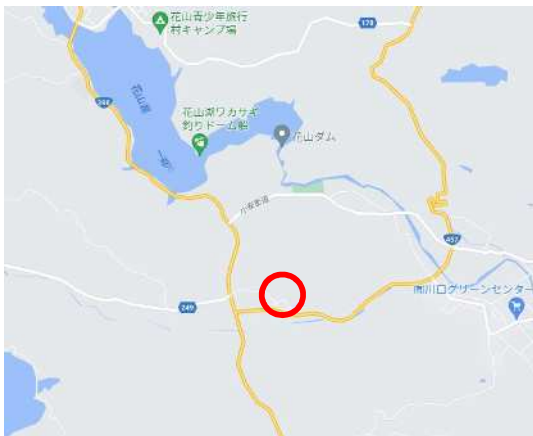


代表横断図



虎沢砂防堰堤 土石流対策事業

事業名	土石流対策	
事業概要	<p>栗原市花山草木沢宿地内は高低差100m内外の丘陵地形で構成されており、この地内にある虎沢はいくつもの支流が合流して形成される溪流の小河川である。</p> <p>事業箇所の第1号虎沢堰堤は、旧基準に基づき設計・施工され、昭和44年2月に完成し、50年以上経過している施設であり、流域内は昭和40年代から昭和50年代に行われた大規模な碎石掘削による地形変化が著しく、流域面積・流域内の地形状況及び降雨量も変化しており、現施設では土砂流出の防止が困難となる恐れがある。</p> <p>このため、現基準に準拠した施設へ改築し、土砂流出の防止を図るもの。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市花山草木沢宿地内外</p> <p>2 全体事業費 C=147百万円</p> <p>3 施工延長 L=40.8m</p> <p>4 事業期間 令和3年度～令和6年度(予定)</p> <p>5 進捗率(R5末) 14%</p> <p>6 事業概要 コンクリート工 コンクリートブロック積工</p>	<p>【令和6年度概要】</p> <p>1 事業費 C=127百万円 (内繰越 0百万円)</p> <p>2 施工延長 L=40.8m</p> <p>3 事業概要 コンクリート工 V=650m³ コンクリートブロック積工 A=60m²</p>
事業効果	既設堰堤の改築により、土砂の流出を防止し、地域の安全・安心な暮らしを確保する。	



岩倉沢土石流対策事業【国土強靱化】

事業名	土石流対策	
事業概要	岩倉沢は、栗原市栗駒沼倉薬水地内に位置する溪流であり、平成13年に施行された土砂災害防止対策法に基づき、土石流の発生が予測される危険箇所の調査を進め、平成27年6月に土砂災害警戒区域等に指定(告示)されている。 周辺は多数の住宅が立地するほか、緊急輸送路としての役割を担う国道457号が併走していることから、地域の生活基盤や道路機能の確保に向けて、砂防施設等の整備を行い、土砂災害からの被害の軽減を図るもの。	
事業内容	【全体計画】 1 事業箇所 栗原市栗駒沼倉地内 2 全体事業費 (調査設計中) 3 施工延長 (調査設計中) 4 事業期間 令和5年度～ 5 進捗率(R5末) 6 事業概要 土石流対策工(堰堤工(予定))	【令和6年度概要】 1 事業費 C=29百万円 (内R5繰越 29百万円) 2 施工延長 3 事業概要 測量調査設計 一式
事業効果	砂防堰堤等整備により、土砂の流出を防止し、地域の安全・安心な暮らしを確保する。	

◆ 【位置図】



参考平面図

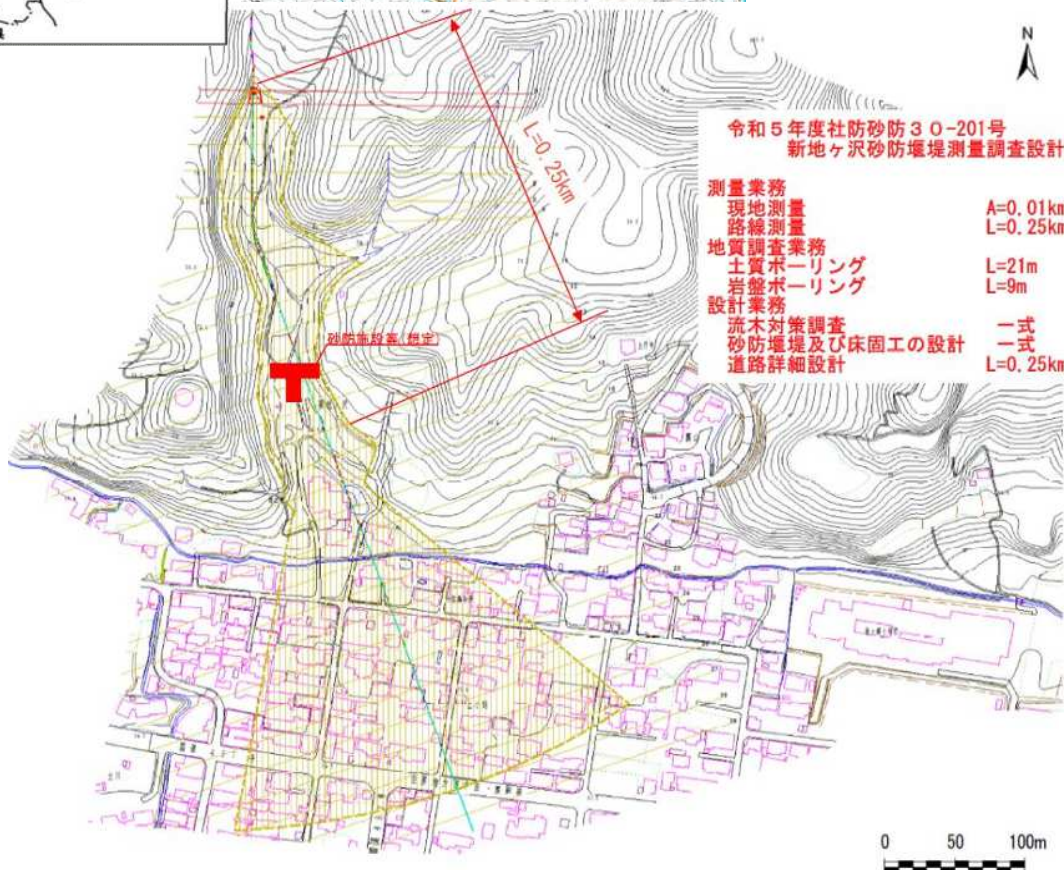
- 令和5年度社防砂防3 1-201号
岩倉沢砂防堰堤測量調査設計業務委託
- | | |
|--------------|-----------------------|
| 測量業務 | |
| 現地測量 | A=0.02km ² |
| 路線測量 | L=0.40km |
| 地質調査業務 | |
| 土質ボーリング | L=21m |
| 岩盤ボーリング | L=9m |
| 設計業務 | |
| 流木対策調査 | 一式 |
| 砂防堰堤及び床固工の設計 | 一式 |
| 道路詳細設計 | L=0.20km |



新地ヶ沢土石流対策事業【国土強靱化】

事業名	土石流対策	
事業概要	<p>新地ヶ沢土石流対策事業については、栗原市栗駒岩ヶ崎新地ヶ沢地内に位置する溪流であり、平成13年に施行された土砂災害防止法に基づき、土石流の発生が予測される危険箇所の調査を進め、平成27年6月に土砂災害警戒区域等に指定(告示)されている。</p> <p>周辺は多数の住宅や指定避難所のほか要配慮者施設などが立地していることから、地域の生活基盤の確保に向けて、砂防施設等の整備を行い、土砂災害からの被害軽減を図るもの。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 栗原市栗駒岩ヶ崎地内</p> <p>2 全体事業費 (調査設計中)</p> <p>3 施工延長 (調査設計中)</p> <p>4 事業期間 令和5年度～</p> <p>5 進捗率(R5末)</p> <p>6 事業概要 土石流対策工(堰堤工(予定))</p>	<p>【令和6年度概要】</p> <p>1 事業費 C=29百万円 (内繰越 29百万円)</p> <p>2 施工延長</p> <p>3 事業概要 測量調査設計 一式</p>
事業効果	砂防堰堤等整備により、土砂の流出を防止し、地域の安全・安心な暮らしを確保する。	

◆【位置図】



更新防災等(道路メンテナンス)事業

事業名	更新防災等(道路メンテナンス)事業	
事業概要	<p>県の管理する道路橋は、今後急速に高齢化が進んでいき、少子高齢化による労働人口減少に伴う税収の減少や社会福祉費の増加に伴う建設関係の投資余力の減少が懸念され、将来的に少ない予算の中で管理橋梁の維持更新が必要となることから、計画的に点検・補修していくことにより、維持管理コストを低減していくことが重要となっている。</p> <p>急速な高齢化に対処するために、計画的な維持補修及び将来的な更新時期の平準化を図ることが求められており、その実現に向けて、橋梁長寿命化計画に基づき橋梁補修工事を進めるもの。</p>	
事業内容	<p>【全体計画】</p> <p>1 事業箇所 対象橋梁N=44橋</p> <p>2 全体事業費</p> <p>3 対象橋梁 43橋</p> <p>4 事業期間 H26～H30</p> <p>5 進捗率(R5末) 86.0%</p> <p> <完成橋梁> 37橋</p> <p>(1岩ヶ崎橋, 2杉橋, 3沖橋, 4砂押橋, 5伊豆沢橋, 6三峰橋, 7宿前橋, 8透川橋, 9仮屋橋, 10蓮沼橋, 11新橋, 12四ツ岩橋, 13門伝橋, 14祝田橋, 15水沢橋, 16座主歩道橋, 17落合橋, 18念佛壇橋, 19御駒堂橋, 20川台大橋, 21源戸橋, 22田中橋, 23夏川橋, 24洞萬橋, 25中山橋, 26夏川橋側道橋, 27荒谷橋, 28諏訪橋, 29荒防橋, 30上在橋, 31次郎前橋, 32玉山大橋, 33赤坂橋, 34日向橋, 35小僧大橋, 36南沢川橋, 37瀬峰橋側道橋)</p>	<p>【令和6年度概要】</p> <p>1 事業費 C=235百万円 (うち繰越60百万円)</p> <p>2 施工橋梁 N=3橋</p> <p>3 事業概要 (継続) 木戸橋, 熊沢橋 (R6着手) 温湯橋(対象43橋以外)</p>
事業効果	健全な状態をより長く保つことが可能となり橋梁の長寿命化を図ることができ、更新時期の平準化や橋梁維持補修費の大幅な縮減が期待される。	

位置図



この地図は、測量法第29条に基づき国土地理院長の承認『平成27年度東棟, 第25号』を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものを一部転載したものである。

補助・県単舗装補修事業

事業名	補助・県単舗装補修事業		
事業概要	交通量の増加や舗装の経年劣化などにより損傷した路線について、舗装マネジメント計画に基づき、交通量区分や劣化状況に応じ、打ち換え、切削オーバーレイ、クラック注入等、適切な補修を行い、現状の舗装の管理水準を確保するもの。		
事業内容	【全体計画】 1事業箇所 栗原市花山本沢北ノ前地内外 2全体事業費 3施工延長 4事業期間 5進捗率(R5末) 6事業概要 舗装補修 切削オーバーレイ 舗装打換工	【令和6年度概要】 1 事業費 補助C=114百万円 (うち繰越114百万円) 県単C=240百万円 (うち繰越30百万円) 2 施工面積 L=4,450m 3 事業概要 舗装補修 A=26,700㎡ 切削オーバーレイ 舗装打換工	
事業効果	舗装補修により、安全で快適な通行が確保される。		

施工前状況



(主)築館栗駒公園線
栗原市栗駒沼倉放森地内



(国)398号 花山字本沢北ノ前地内

舗装補修箇所位置図

岩手県

凡 例

- 東北自動車道
- 国道4号
- 国道398号、457号
- 主要地方道
- 一般県道
- == 東北新幹線

令和6年度舗装補修予定箇所			
No	事業	路線名	施工予定箇所
1	補助	(国)398号	栗原市花山本沢北ノ前地内
2	補助	(国)398号	栗原市花山本沢鯨ヶ森地内
3	補助	(主)築館栗駒公園線	栗原市栗駒沼倉放森地内
4	県単	(国)398号	栗原市志波姫北郷地内
5	県単	(国)457号	栗原市一迫嶋鉢地内
6	県単	(主)古川一迫線	栗原市高清水宮脇地内
7	県単	(-)油島栗駒線	栗原市若柳有賀地内
8	県単	(-)若柳花泉線	栗原市若柳武鎗地内
9	県単	(-)文字上尾松線	栗原市栗駒文字地内

○ 防安交:強強化【国補正】

○ 県単事業

※他の工事箇所における施工状況や、緊急的な補修箇所の発生等により、補修箇所を変更する場合があります。

河川内の支障木伐採・堆積土砂撤去

事業名	河川管理	
事業概要	河川内の支障木や堆積土砂は、流水を阻害し、洪水被害を拡大させる要因となるとともに河川環境を劣悪にさせる。 このため、流水阻害や河川環境の劣化が顕著で、沿川の市街地や集落等が洪水で甚大な被害に遭うおそれがあるなど、河道状況や沿川状況等を考慮して優先順を定め、支障木伐採・堆積土砂撤去を実施し、流下能力の向上と良好な河川環境の保全を図るもの。	
事業内容	【令和6年度概要】支障木撤去 1 事業費 C=100百万円 (うち繰越 100百万円) 2 施工延長 L=3,360m (うち繰越L=3,360m) 3 事業概要 A=97,700m ² (うち繰越A=97,700m ²)	【令和6年度概要】堆積土砂撤去 1 事業費 C=138百万円 (うち繰越 83百万円) 2 施工延長 L=1,981m (うち繰越 L=1,981m) 3 事業概要 V=11,080m ³ (うち繰越 V=11,080m ³)
事業効果	支障木伐採、堆積土砂撤去による流下能力の向上と良好な河川環境の保全	

